



計画の目的等

- 目的：地域社会において重要な役割を担う社会貢献活動に対する支援を推進し、県民の社会生活の質の向上を図り、豊かで安心して暮らすことができる元気な地域社会の実現を目指す。
- 位置付け：高知県社会貢献活動推進支援条例（平成11年高知県条例第4号）第9条第1項に基づき定めた、社会貢献活動に対する支援策を総合的かつ計画的に推進するための基本となるものであり、その構成は同条第2項に基づき策定。

- 取組目標：「誰でも気軽に社会貢献活動」の気風づくり
- 計画期間：令和6年度から令和10年度までの5年間
- 進捗管理：PDCAサイクルにより計画の進捗管理を行い、その進捗状況を社会貢献活動支援推進会議に報告するとともに公表する。

第4次計画に係る主な成果目標の状況

計画期間：H31～R5の5年間

項目	H29	R4	目標(R5)
会員数が増加したNPO法人	-	23.3%	20%
外部資金を得るNPO法人の増加率	-	7.3%	20%
社会貢献活動団体と協働している市町村	63.3% (H28)	59.3%	70%
ボランティア行動者率の増加	22.6% (H28)	19.0% (R3)	26.0% (R3)
ナツボラ（※）参加高校、延べ参加者数	9校・ 920人	32校・ 990人	15校・ 1,200人

※ボランティアの発掘や活動の裾野を広げるため、学生等を対象にした夏のボランティア体験キャンペーン

◆課題

1 NPOの活動基盤の充実

会員数が増加した法人及び外部資金を得る法人の割合は増加しているものの、活動資金の量や活動に参加してくれる人員が十分でないとする法人は多く、引き続き活動基盤の強化が課題。
 ○活動人員が不十分とする法人 … 74.2% (R5 NPOアンケート)
 ○活動資金が十分でないとする法人 … 80.2% (R5 NPOアンケート)

2 事業者等との連携

事業者及び市町村とNPOとの連携・協働が進んでおらず、更なる理解促進につながる取組が必要。
 ○NPOと連携した事業者 … 23.5% (R5 企業アンケート)

3 社会貢献活動への理解促進・活動参加の促進

新型コロナウイルス感染症の影響でボランティア行動者率が減少。若年者だけでなく、誰もが気軽に社会貢献活動に参加しやすい環境整備が必要。

第5次計画の主な実施項目及び成果目標

計画期間：R6～R10の5年間

◆人材確保と広報力の向上

学生向けのナツボラの実施など次世代の担い手を育成するとともに、社会貢献活動の理解促進のための広報力の向上。

◆組織基盤強化

NPOの運営等に関する研修の充実やふるさと納税を活用した資金調達を支援。

◆中間支援機能の強化

中間支援組織の事業拡充による支援機能の強化。

- 活動人員の増えたNPO法人 R5：26.4% → R10：30.0%
- NPOへ寄附した県民の割合 R5：18.2% → R10：20.0%
- 活動資金規模の増えたNPO法人 R5：63.9% → R10：70.0%
- ウェブ報告システムを利用するNPO法人 R5：5.8% → R10：30.0%

◆マッチング支援

ボランティアガイダンスの実施や、事業者に対するNPOの情報提供により事業に参加してくれる人や協働してくれる事業者等とのマッチングを支援。

◆事業者・行政・大学等との連携

ナツボラの周知や、事業者との協働推進セミナーを開催し、関係団体との連携を推進。

- ナツボラ参加高校・延べ参加者数 R5：32校・延べ1,339人 → R10：40校・延べ1,500人
- NPOと関わった実績のある市町村の割合 R5：59.3% → R10：70.0%

◆社会貢献意識の向上

ボランティア体験の場を設け、年齢に関わりなく、すべての世代の社会貢献意識の向上を推進。

- NPOの必要性を認める県民の割合 R5：58.1% → R10：70.0%
- ボランティア活動参加率 R5：36.5% → R10：50.0%
- ナツボラ参加高校・延べ参加者数 R5：32校・延べ1,339人 → R10：40校・延べ1,500人